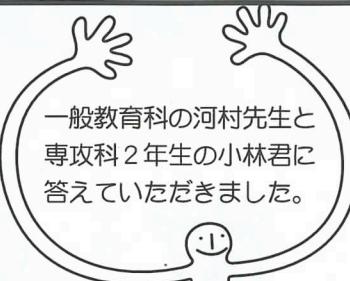


陶芸教室

Q&A



- Q1** 高校時代に悩んだことはどんなことでしたか？
Q2 どのようにして悩みを解決されましたか？
Q3 学生(在校生)へのメッセージをお願いします。

一般教育科 河村 豊實 先生



A1

地元の高校に通い、気ままに過ごしました。生活面は、悲喜こもごもの日々の漠然とした悩みはあったと思います。

学習面は、学んでいる内容が論理的で正しいことだとは解っても、自分の思い込みと折合いが付かず納得できずにいたとき、学習が停滞して困りました。

A2

生活面では日々の悩みを深刻に受け取ったことはなく、今にして思えば取るに足りない悩みであったと思います。

学習面では納得できない問題の周辺を学び直して周りの理解を広げつつ、時間が掛かっても自分を納得させようと努力しました。

A3

目標の専門分野だけでなく、直接に関係の無さそうな分野の科目についても、与えられたら興味を持って学習すべきだと思います。

即戦力となるのは、専門分野は勿論あらゆる分野に通じた、総合的な基礎知識であろうと思います。

建築学専攻 2年生 小林 良平 君



A1

本科5年、専攻科2年という長い学校生活を通して、継続することの難しさを痛感しました。私は普段から勉強する癖がついていなかったため高学年になり、より専門的な事を学ぶようになると3年生くらいまでは通用していた一夜漬けは勿論通用せず、成績もガタ落ちしました。思い返せば、いつしか単位評価基準である60点を取ることで満足するようになっていったと感じています。

A2

月並みですが、何が一つ目標を立てることだと思います。私の場合は、志望する大学院へ合格すること、研究を納得がいくまでやり遂げました。高い目標を立てることで、受験や研究だけでなく授業や普段の学校生活などに対する姿勢も変わっていましたように思います。

A3

チャンスは到る所に転がっていると思います。私は先生や先輩、同期に話を聞いて大学院の受験や国際学会への参加などを決意しました。目標が見つからずに日々を過ごしている人も多いかと思いますが、せっかくの学校生活なので常にアンテナを張って色々なことに挑戦して欲しいと思います。そうすることで自分の将来について視野が広がるかもしれません。

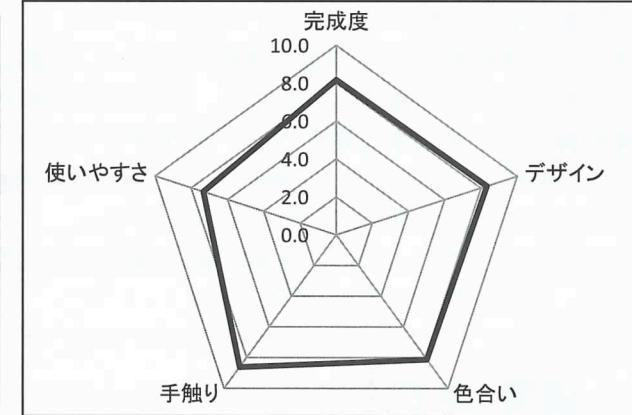
陶芸教室を開催しました

陶芸教室を開催しました。平成24年11月8日(木)の16時30分～18時まで、合同講義室に学生18名、教職員5名が集合しました。参加者は、マグカップ、茶のみ、小鉢、小皿、鉛筆立て等を思い思いの形に練り上げました。

講師として鶴我淳二郎先生ご夫妻をお招きました。鶴我先生は、朝倉郡筑前町にある安野焼淳窯の窯元で、NHK福岡放送局文化センターで、陶芸教室の講師を務めています。この日も作品の作り方を分りやすく学生に説明して頂きました。

短い時間の手作り作業でしたが、楽しいひと時を過ごしました。乾燥期間約1ヶ月を経て、焼き上がった作品を手にした学生には満面の笑みがこぼれていきました。

陶芸教室の様子と作品の自己評価



陶芸教室に参加した学生の感想

- ☆ 自分で作ったとは思えないぐらい良い出来で、自分の手が作り出す形がヘンテコでおもしろかった。
- ☆ もう少し時間が欲しかった。来年も参加したい。
- ☆ 陶芸は昔から興味があったので、今回体験することができて良かった。
- ☆ できあがったのを見たら模様がきれいで嬉しかった。両親にあげようと思ったけど、自分で使いたくなつた。

学生相談室の利用件数

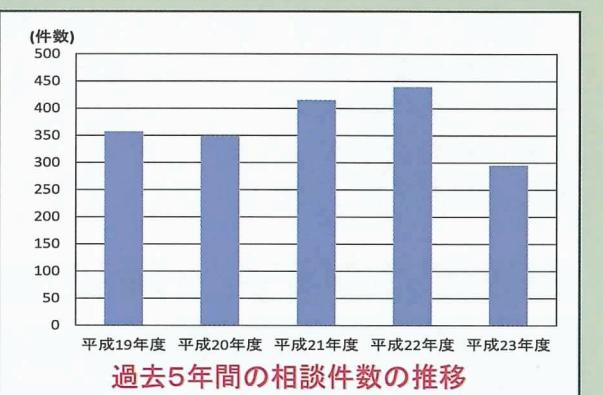
下記の図表は、それぞれ平成23年度の相談件数とその内容、平成19年～23年までの5年間の利用件数の推移を示しています。平成23年度に増加した項目では、学生生活、病気の相談が急増し、対人関係、恋愛の相談で若干の増加が見られました。

件数が減少した項目を見ると、不登校での相談が皆無となり、その他の項目が激減し、また性格、学業の項目で減少しています。

困っているときは1人で悩まず、相談室を訪ねてみませんか。話をするだけでも肩の荷が軽くなります。

平成23年度の相談内容と件数 ※カッコ内は平成22年度

項目	件数	項目	件数
進路	17(18)	性格	15(25)
家庭環境	18(18)	病気	39(19)
恋愛	24(12)	いじめ	0(-)
対人関係	46(38)	体形・体質	24(27)
不登校	0(74)	学生生活	69(39)
学業	25(39)	その他	18(130)
合計	295(439)		



保健室便り

一寒さやストレスによる「おなかの不調」を防ごう

冬場におなかの不調で困ったことはありませんか？これは寒さやストレスによって血流が悪くなり、腸の働きに必要な酸素や栄養分が届きにくくなり、腸の働きが低下することによって、おなかの不調（下痢・便秘・痛みなど）が起きます。

このようなおなかの不調はおなかを温めることで楽になることが多いようです。

おなかに手をあてて手の温かさを感じたらおなかが冷えていると考えられるので、からだの外側からは、下着を着けて上手に重ね着をする、腹巻きやマフラーを使う、足浴やお風呂につかるなど、内側からは、温かい飲食物を取り、おなかを温めて、体調アップを図りましょう。

吐き気を伴ったり、ひどい下痢が続く場合は病気が考えられます。早めに受診しましょう。

編集後記

今年度、九州地区高専の相談室連絡協議会が発足した。第1回の室長会議で相談事例がいくつか報告・検討された。

学内・学外との連携、病気で修学が困難な学生への支援、データDVなども話し合われ、相談室だけでは対応できないものもあった。

同じデータDVの事例にしても、個々の事例は全く個別的だから、臨機応変の対応がそれぞれ必要になる。

万能薬となる対応策はないと、分かった。

どの高専の相談室も似たような問題を抱えていた。貴重な学習の機会であった。（室長）



相談室の場所は…

- **学生相談室**
修己館1階保健室の左隣り
☎ 0944-53-8657
- **カウンセリング室**
修己館1階保健室の右隣り
☎ 0944-53-8625
- **谷口教員室**
一般教育科北棟2階
☎ 0944-53-8662
- **西山教員室**
一般教育科北棟2階
☎ 0944-53-8675
- **嘉藤教員室**
電子情報工学科棟2階
☎ 0944-53-8718
- **徳田教員室**
一般教育科北棟3階
☎ 0944-53-8639

